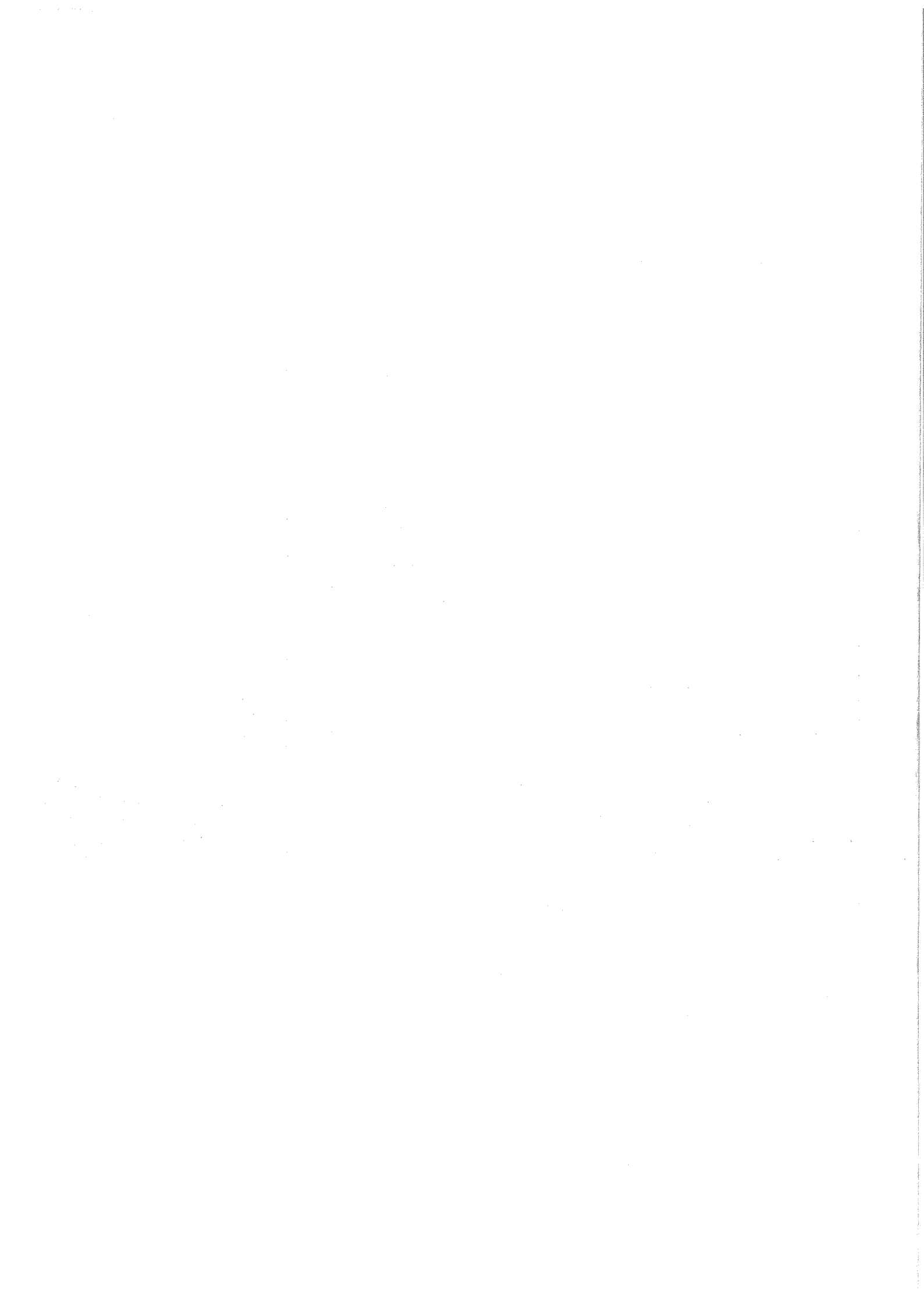


2003 / 年報

平成 15 年度

No.11

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



はじめに

開館から11年目にあたる今年は、あらたに国指定史跡となった米沢市の「古志田東遺跡」をとりあげ第11回企画展を開催致しました。古代律令制崩壊期の地方のようすをさぐる上で重要な遺跡で、数々の木簡をはじめとした遺物や巨大な掘立て柱の建物、遺跡をめぐる河川跡などが検出されました。昨年度史跡公園として整備され新しい団地のなかに学習と憩いの場として、市民や多くの小・中学生の活用に供されています。

展示については、時代の背景や歴史の動きをよりわかりやすく把握できるように「古代長者の世界」というテーマを掲げ、本館はじめての試みとして、古代史に造詣ふかい方々によって構成される「企画展示委員会」を設け、指導・助言をいただきながらすすめました。お陰様で大変ユニークでわかりやすいとの好評をえて無事終わることができました。

また多くの小学校・中学校・高校から来館があり、体験教室に参加しての学習によせられた感想などを拝見して職員一同あらためて感銘を深く致しました。「縄文まつり」「古代食まつり」なども年ごとに盛大になり、参加する方々も多くなりつつあります。

また、「東北文字資料研究会」をはじめ、いろいろな学会が本館を会場にして催されました。今後とも地域に根ざす施設として、全国に考古情報を発信する資料館として、機能を発揮していく所存でございます。よろしくご指導とご助言をお願い申し上げます。

2004年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

館長 川崎利夫

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	5
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第11回企画展	
4. 教育普及活動	7
(1) 公開講演会	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) うきたむ縄文まつり	
(5) 第5期「考古学セミナー」	
(6) 発掘調査検討会	
(7) 学校教育との連携	
(8) 学芸員実習	
(9) 「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資料の活用	11
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 博物館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
6. 入館状況	12
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来館者アンケート	
7. 管理及び運営	14
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
(3) その他	
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館、博物館実習生募集要項	
押出遺跡出土に係る彩漆土器資料（国所有・国指定重要文化財）等	
出土品の貸出しに関する取扱要項	
8. 受贈図書	17
9. 日誌抄	23
10. 利用案内	24

1. 施設 の 概 要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿 革

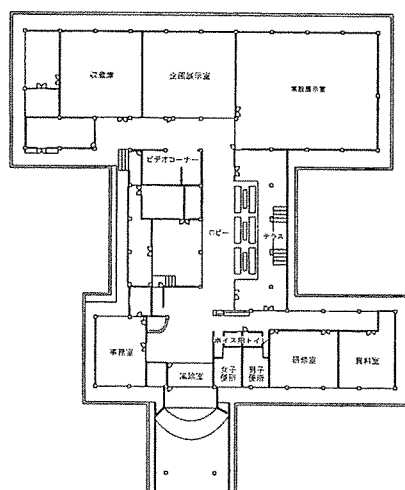
昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

(3) 施 設

①構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000㎡ 延床面積：1,358.24㎡.

常設展示室	279.00㎡	事務室	67.50㎡
企画展示室	129.37㎡	作業室・荷解室	51.75㎡
収蔵庫（2層）	129.37㎡	ロビー・ホール	336.85㎡
研修室	125.70㎡	その他（機械室等）	238.70㎡



〔山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図〕

2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」文化庁 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」
講演会「末期古墳がつくられたころ」福島大学 工藤 雅樹氏
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」秋田埋文センター 富樫 泰時氏
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏他10回
第3回企画展「発掘された中世ーまじないと祈りの世界ー」
講演会「中尊寺金色堂の視線」東北大学 入間田 宣夫氏
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」青森県教育委員会 岡田 康博氏
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文草創期・早期」山形埋文センター 佐々木 洋治氏他10回
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立
第4回企画展「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会「古代出羽の役所」酒田市教育委員会 小野 忍氏
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」
講演会「古代の窯業遺跡」国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康暢氏
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」山形埋文センター 佐藤 庄一氏他10回
第7回収蔵品展「縄文の四季」
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会「縄文文化と現代」国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）

講演会「古代出羽の都」酒田中央高校 佐藤 禎宏氏
講演会「縄文文化の魅力」國學院大学 小林 達雄氏
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
「大型住居跡を掘る」米沢市教育委員会 手塚 孝氏他5回

平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化－水田稲作の始まり－」
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
考古学入門講座「中世の考古学」
「奥羽の中世世界」山形大学 伊藤 清郎氏他5回
講演会「東北の弥生文化－その成立と展開－」東北大学 須藤 隆氏

平成11年度 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」
「古墳時代の集落」山形県立博物館 阿部 明彦氏他5回
講演会「日本の中の山形の古墳」明治大学 大塚 初重氏
置賜地区遺跡発掘調査報告会

平成12年度 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
考古学セミナー「奈良・平安の考古学」
「飛鳥時代の東北」福島県教育委員会 木本 元治氏他5回
講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」
明治大学 石川 日出志氏
2000年山形の発掘〈調査報告会〉

平成13年度 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
考古学セミナー「城館跡の考古学」
「城館跡を歩き楽しむ」中世城郭研究会 横山勝栄氏他5回
講演会「奥羽における城館跡」山形大学 伊藤 清郎氏
2001年山形の発掘〈調査報告会〉

平成14年度 第4回特別展「やまがたの縄文土器」
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
考古学セミナー「やまがたの縄文土器」
「縄文土器の出現と展開」山形県教育庁 渋谷 孝雄氏他5回
講演会「やまがたの縄文土器」
「世界の中の縄文土器」國學院大学 小林 達雄氏
「関東・東北の縄文土器」東京都教育庁 安孫子昭二氏
2002年置賜の発掘〈調査報告会〉

これまでの教育普及活動

- 体験教室 ・土器作り ・けつ状耳飾り作り ・縄文住居作り
・土面、土笛作り ・編み物作り ・土偶作り
・釣り針づくり ・弓矢、投げ槍体験 ・石器作り
・縄文料理 ・勾玉づくり ・火起こしほか
- イベント ・縄文まつり（体験教室と縄文料理） 古代食まつり
- 遺跡訪問 ・青森県津軽地方 ・岩手県江刺地方 ・福島県会津地方
・栃木県両毛地方 ・福島県いわき地方 ・福島県白河地方
・新潟県中越地方 ・秋田県仙北地方
・毎春秋に近隣市町の遺跡を巡検

3. 展 示 の 概 要

(1) 常設展示室及びテーマ展示

常設展示室は、ロビーも含め置賜地域を中心としての旧石器時代から縄文・弥生・古墳時代に至る地域の歴史の流れがおおまかに把握できるよう、出土遺物を主に写真や解説を補助として展示している。

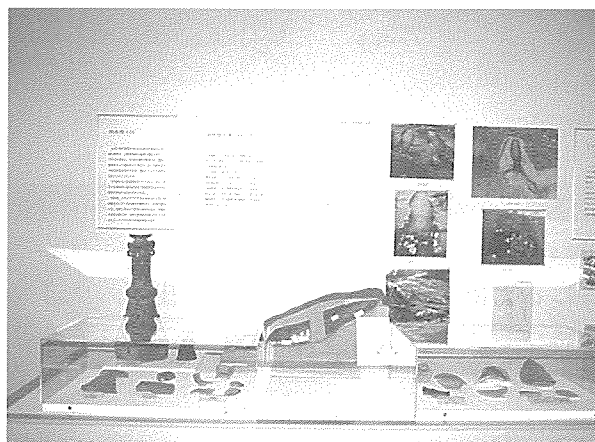
ロビーには旧石器を最古の上屋地遺跡から細石器までイラストとともに展示しているが、ともに参考資料や遺物を実際手にとってさわってみられるコーナーも設け、歴史のながれが一目でわかるように年表も掲げてある。ここでゆったり過していただくことがねらいである。

常設展示室は、基本的には従前とは変わらないが、やはり縄文草創期の洞窟遺跡と押出遺跡の資料を中心として、時代ごとの変遷がわかるように展示している。毎年資料の充実をはかり、一部の改変をこころみている。今年は縄文前期初頭の土器や弥生土器の新資料を米沢市教育委員会より借り受けて一層の充実をはかった。またもっとも東北らしいと言われる縄文中期の隆起文土器が台ノ上遺跡の遺物を主として並べられ、圧巻となっている。年度後半には展示スペースを増設し、縄文時代後期から弥生時代までの時代推移について明確な展示となった。米沢市竹井境 A 遺跡の腕輪型土製品や村山市宮の前遺跡の写真パネル等を新たに展示している。今後さらに検討を加え、参観者の関心をうながし、興味をもたれるわかりやすい展示を目指していきたい。

企画展示室は、企画展が開かれている10・11月以外は、古墳時代から江戸時代までの発掘資料を展示しているが、他ではみられない貴重な遺物が多い。古代や中世の資料を中心とした展示の充実をはかっていくことがこれからの課題であろう。ことに従来から考えられてきた「考古資料」にとらわれることなく、新たな発掘資料からどのような人々の歴史像が切り開かれていくのか、その展望を示すような展示を考えていきたい。



常設展示室の弥生コーナー



古代窯業の展示（古代中世の考古資料）

(2) 第11回企画展

- ・テーマ 「古代長者の世界～古志田東遺跡展」
- ・開催期間 2003年10月1日～11月30日

米沢市街の南側に位置する「古志田東遺跡」は、住宅団地造成により1999年に発掘調査が行われ、2000年に国指定史跡を受けた平安時代の地方豪族の屋敷跡である。律令体制が衰退する時期の地方の動向をうかがう上で、きわめて重要な遺跡で、木簡をはじめ農工具・檜扇・物差し・修羅などの生活用具が数多く発見され、古代の富豪層とそのもとで働いていた農民の生活と社会を考える貴重な遺物が、建物跡や河川跡に伴って発掘された。今年度史跡公園としての整備も完了し、活用されている。

この企画展を開催するにあたり、大学関係、県文化財保護室、米沢市発掘担当者などの研究者で構成する「古志田東遺跡展示委員会」を設け、3回にわたる討議を重ね、細部にわたる指導助言をいただくことができた。

展示にあたっては、出土資料を中心に、机や棚、折敷の復元品、絵巻物や写真、わかりやすい解説で補い、その時代を活写するようにした。とくに時代の転換期における大きな歴史のうねりが感じとられるよう意図した。主要な木簡や大浦B遺跡の漆紙文書をはじめ、木器や土器などの生活用具を中心に、時代背景、遺跡の発掘状況、農業・物資運搬・文書事務・宴会のようすなど各場面におよび、当時の人々の息づかいが感じられる工夫をこらした展示であるとの感想もよせられ好評であった。

企画展にちなみ、11月16日に米沢市教育委員会の手塚孝氏と山形大学三上喜孝氏による講演とトークがあり、またわかりやすい解説の図録も発刊された。



千枚通しと転用碗



古志田東遺跡土器

4. 教育普及活動

(1) 企画展記念講演会・トーク

11月16日（日） 受講者100名

第11回企画展記念講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡展～」

基調講演

講師 山形大学 三上 喜孝氏

〃 米沢市教育委員会 手塚 孝氏

トーク 講師と会場が一体となり、古代長者のくらしや実像について話し合われた。

基調講演録を、考古の会誌「うきたむ考古9号」に掲載予定。



第11回企画展記念講演会

(2) 体験教室

① 勾玉づくり

7月19日（土） 25名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を材料に勾玉を作った。村山地方の子どもの参加が多かった。

② 縄文土器をつくろうー野焼きのための焼物教室ー

形づくり 8月2・3日（土・日） 15名参加

共 催 南陽市立梨郷中学校 7月12日（日） 8名参加

野 焼 き 10月25日（土） 30名

形づくりの日を2日間設定して開催した。野焼きは、10月25日に行った。

③ 体験講座「布を作る」

7月5日、26日、8月9日、23日（いずれも土曜日） 参加者9名

歴史公園内において採取したアオソから繊維をとり、糸にするところから作業をはじめ、布を編み上げるまで、一連の行程を連続4回で体験した。歴史公園を体験に有効に活用することができた。参加した大江町の方々と、更に発展し合える関係を結べたことは幸いであった。

④ 赤ちゃん手形づくり

4月26日より5月5日まで 参加者280名

縄文時代に、子どもの健やかな成長を願って作られたと考えられる赤ちゃんの手形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施した。3年目の開催となった今年は、短期間にもかかわらず、広報の充実により多くの参加があった。また、県内出土の手形資料を（財）山形県埋蔵文化財センターより借用し、多くの方に目に触れていただくことができた。



縄文土器をつくらう



赤ちゃん手形づくり

⑤古代食まつり

2月22日（日） 参加者150名

原始・古代時代の食事を考え、学び、味わうことを目的に開催した。特に今年は、歴史公園内でイノシシ、クマを味わった。実際に狩猟をする皆さんに調理を指導いただくとともに様々な体験談、狩りの知恵を教えていただいた。

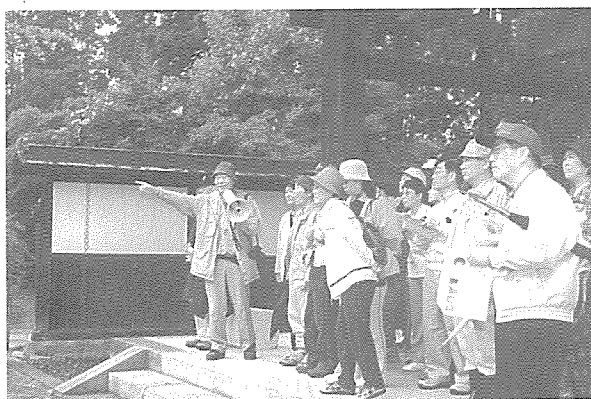
遺跡めぐり

(3) 遺跡研修

①春の遺跡めぐり

6月1日（日） 参加者25名

天童市仏向寺、若松寺、格知学舎、出羽桜美術館などを訪ねた。宗教、近代初頭の地方の文化運動、陶磁器に関する学習を深めた。充実した見学を行なうことができた。



②秋の遺跡めぐり

10月19日（日） 参加者25名

西村山地方の山間部を訪ねた。大江町歴史民俗資料館、同小倉交流館、巨海院、朝日町八ツ沼城、大隈遺跡などを訪ね、歴史と風土を楽しんだ。開催にあたっては大江町教育委員会日下部氏にご案内いただいた。

うきたむ縄文まつり

(4) うきたむ縄文まつり

9月6日に開催 参加者303名

縄文時代の暮らし・遊び・祭りを経験しながら、縄文人のおおらかな生き方を感じることをテーマに「まほろば古の里歴史公園」を会場に開催された。今年度は、高畠町の呼びかけによる「歴史公園まつり」の一環として「うきたむ縄文まつり」に参加した。



- 縄文体験 13:00～16:00
勾玉作り・編み布・弓矢作り・魚つりを歴史公園考古資料館付近にて行った。
- 縄文の料理試食 17:30～19:00
縄文クッキー・黒米おこわを試食した。
- 月見の宴 17:30～20:00
縄文太鼓（代表 金子俊郎氏）の演奏・歌・踊り

(5) 第5期「考古学セミナー」

平成11年度より「考古学セミナー」として開講し5回目を迎えた。考古学を楽しく学び歴史を正しく認識することを目的に、どなたにも開かれた学習の場として生涯学習に寄与することをねらいとし、5回にわたり実施した。

今回は、企画展の内容に合わせて、平安時代の歴史と考古をテーマとして開催、学習した。平安時代研究において期待される若手研究者たちの新鮮かつ堅実な研究の成果を、わかりやすく楽しく学習でき、参加者に好評であった。延べ参加250名

- 第一回 8月10日『平安時代はどんな時代か』 講師：山形大学 三上 喜孝氏
- 第二回 8月24日『平泉と出羽』 講師：山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆氏
- 第三回 8月31日『焼き物から出羽の古代を考える 黒い土器・青い土器・赤い土器』
講師：東北芸術工科大学 北野 博司氏
- 第四回 9月14日『墨書土器が意味するもの』 講師：東北芸術工科大学 村木 志伸氏
- 第五回 9月21日『平安仏教の考古学』 講師：本館 川崎 利夫

(6) 発掘調査検討会

①2003年置賜の発掘 調査検討会

2004年2月23日（日）70名参加

基調報告「2002年度山形県の発掘調査概要」山形県教育庁名和達朗氏ほか、昨年発掘調査された県内4遺跡の報告・検討を行った。

(7) 学校教育との連携

学校等の団体で入館を希望する場合に、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後には「利用評価表」の記入を依頼し、改善点の指摘などを得た。

多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせ利用している。また、体験学習（勾玉づくり・弓矢づくり・火起し・縄文服試着等）を行い、児童・生徒の実感を伴った学習を希望するケースが多い。学校5日制の実施に伴う授業時間の減少から、学校での利用が減少することが考えられたが、逆に昨年度よりも増加した。児童・生徒からの電話での相談も受け付けた。今後は、相談事業を充実させ様々な形での利用を目指すとともに、考古資料の活用についてさらに検討していきたい。

《総合学習への対応》

昨年度より始まった「総合的な学習」をめぐって学校・教員、生徒・児童等様々な立場から資料館が利用されるようになった。縄文時代の学習で利用するケースが多く、来館後の授業の流れも含めて相談を受けた。

高畠町立第三中学校の場合

総合学習「食糧と農業」の一環として、縄文食の調理・試食を体験することを目的とし、縄文クッキー・魚の蒸し焼きづくりを行った。館内で地元高畠町押出遺跡から出土した縄文クッキーを見学した後、クッキー班と蒸し焼き班に分かれて学習した。縄文クッキーは、くるみ・栗・どんぐりの粉・うずらの卵・鶏肉ミンチ・塩を使い、今回はフライパン等で焼いた。蒸し焼きは、岩魚をハスの葉で包みカラムシの繊維で縛ったものを、加熱した土で覆い更に熱してつくった。完成後は皆で分け合い試食した。

また、美術科からのアプローチとして縄文土器の見学・観察も行い、解説を聞いた後、土器の印象等を感想にまとめた。

(8) 学芸員実習

実習期間は7月30日（水）から8月5日（火）までとし、大正大学、東北芸術工科大学、米沢女子短期大学より計4名を受入れた。

実習内容は、資料館の概要・展示・発掘調査についての講義の他、体験学習（土器づくり）の準備や講師、収蔵資料の整理等を実技として行った。また、館外実習として（財）山形県埋蔵文化財センターが置賜地方で行なった発掘調査現場の見学を行なった。

日誌などの感想からは、実物資料に触れながらの研修は良い経験になったと思われる。

(9) 「うきたむ考古の会」の事業

◎考古の会総会及び見学会 5月18日

総会開催の後、長井市古代の丘資料館と周辺遺跡の見学を行った。

◎会誌「うきたむ考古」7号の発行

総頁70、昨年度特別講演会『奥羽における城館跡について』講師 山形大学教授 伊藤清郎氏の講演抄他、会員による論文などを、掲載。

◎会員研修～みる・きく・ふれる遺跡の旅8～新潟横断・中世館跡と新潟県立歴史博物館の開催

6月22日～23日 28名参加

◎うきたむ縄文まつりの協力

役員をはじめとした数名の会員によって、縄文まつりの縄文体験コーナーの講師として協力。

◎会員研修

「発掘された日本列島展見学・会津」7月19日23名参加

「庄内の遺跡史跡めぐり」12月7日～8日11名参加

「奈良・飛鳥をめぐる」3月25日～26日16名参加



授業による館内見学



みる・きく・ふれる遺跡の旅8 馬高遺跡にて

5. 資料の活用

(1) 資料貸出

遺跡名	資料名	利用の理由	申請者	資料活用期間	備考
押出遺跡	彩漆土器、炭化食品、他計点	特別展「台所の考古学－食をめぐる知恵の歴史」に出品	名古屋市立博物館	15年10月6日～11月24日	
押出遺跡 高島町洞窟群遺跡	彩漆土器ほか計226点 石器ほか計92点	特別展「高島町の縄文時代」	笠懸野岩宿文化資料館	15年9月17日～12月5日	笠懸町と高島町の友好都市として開催された

(2) 写真利用

利用資料	利用目的（印刷物等の名称）	利用者（発行者）	発行期日	部数
押出遺跡編布	展示会のため	悠遊会	15年5月15日	
押出遺跡炭化食物	綾瀬市史編纂のため	綾瀬市	15年11月1日	1,000
押出遺跡炭化食物	江南市史編纂のため	江南市	16年3月	未定
押出遺跡彩漆土器	高島町立屋代小100周年記念誌	100周年記念誌編集委員会	未定	未定
押出遺跡彩漆土器等	（仮）縄文文化英字版概説書	國學院大學	未定	未定

(3) 資料館資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
15年7月10日	常設展示資料ほか	研究のため	大場正善
15年7月16日	常設展示資料石器ほか	研究のため	稲野彰子
15年7月13日	押出遺跡出土植物遺体（クリ、クルミ）	研究のため	名久井文明
15年8月14日	石器（東山・岩井沢・湯ノ花）	研究のため	森先一貴
15年10月13日	お花山古墳鏡	研究のため	高橋敏
15年10月10日	常設展示資料ほか	研究のため	鹿児島県立埋蔵文化財センター
15年10月19日	企画展資料ほか	研究会のため	国立歴史民俗博物館共同研究
15年11月30日	企画展資料ほか	研究会のため	東北文字資料研究会
15年12月3日	テーマ展資料ほか	研究会のため	窯跡研究会

(4) 刊行物一覧

平成15年4月1日から平成16年3月31日までの刊行状況は下記のとおりです。

書名	発行日
館報うきたむ21号	平成15年5月5日
第11回企画展図録「古代長者の世界 古志田東遺跡」	平成15年10月1日
館報うきたむ22号	平成15年11月3日

6. 入館状況

(1) 平成15年度 月別入館者一覧表

(人)

月分	有料入館者数 (人)					無料入館者数 (人)						計
	個人		団体		計	減免者数		視察その他		減免	計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等	児童		
4月	117	1	0	66	184	123	272	166	4	95	660	844
5月	207	13	20	0	240	627	221	30	15	185	1,078	1,318
6月	124	6	79	0	209	257	297	7	0	64	625	834
7月	159	3	150	0	312	58	98	35	0	66	257	569
8月	397	9	57	32	495	197	7	12	27	219	462	957
9月	210	8	20	0	238	162	776	313	0	69	1,320	1,558
10月	109	3	74	0	186	634	423	31	0	37	1,125	1,311
11月	181	6	0	0	187	194	78	93	2	58	425	612
12月	16	1	0	0	17	2	0	45	0	0	47	64
1月	6	0	33	0	39	2	0	11	0	3	16	55
2月	25	1	41	0	67	183	30	16	0	16	245	312
3月	54	5	0	0	59	2	0	24	0	35	61	120
計	1,605	56	474	98	2,233	2,441	2,202	783	48	847	6,321	8,554

(2) 主な入館団体一覧

山辺町ふるさと資料館運営委員会、東置賜1市2町教育懇談会、山形県立ゆきわり養護学校、山形県立米沢養護学校、山形市鈴川公民館、上山市立西郷第二小学校、南陽市立赤湯小学校、寒河江学園、高畠町立屋代小学校、高畠町高畠地区公民館、上山市立西郷第一小学校、高畠町立和田小学校、天童市立田麦野小学校、山形県立長井高等学校、山形県立荒砥高等学校、高畠町立第三中学校、山形県立山形盲学校、山形県立米沢商業高等学校、米沢市立広幡小学校、上山市小中学校教育研究会、山形市立第一小学校、南陽市立梨郷中学校、高畠町立時沢小学校、米沢市立北部小学校、上山市立本庄小学校、高畠町立高畠小学校、米沢市立窪田小学校、長井市立伊佐領小学校、川西町立小松小学校、ひかり学園、米沢市立南原小学校、南陽市立中川小学校、天童市立成生小学校、米沢市立上郷小学校、高畠町立亀岡小学校、米沢市立愛宕小学校、天童市立長岡小学校

(3) 来館者アンケート

- ・駅からのアクセスが遠く、つらいです。(栃木県・40代男性)
- ・戦国時代の展示が欲しい。(福島県・60代男性)
- ・企画展の内容が大変素晴らしいと思いました。広報の方法を広げてゆけば、と思いました。
(置賜地方・40代女性)
- ・わかりやすい説明文にして下さい。(置賜地方・10代女性)
- ・きれいで見やすかったです。(千葉県・20代女性)
- ・近くにこんな立派な施設があったなんて知りませんでした。(置賜地方・60代男性)
- ・生まれ育ったところが、こんな歴史に恵まれたところとは知りませんでした。誇りに思いました。(東京都・60代男性)
- ・今やっていることで、十分です。(千葉県・10代男性)
- ・土器に触れてうれしかった。(神奈川県・10代女性)
- ・学校で来たときの感想が飾ってあってうれしかった。(置賜地方・10代男性)
- ・雪国らしい展示を見たかったです。(千葉県・20代女性)
- ・道路に案内看板が欲しい。(埼玉県・30代女性)
- ・以前より、展示が良くなっている、と思う。(村山地方・40代男性)

体験学習等の参加者から

赤ちゃん手形作り

- ・手形作りに参加しました。兄弟で2年連続、体験しました。良い記念になりました。
(山形県・20代女性)
- ・子どもの成長を残せて、とてもいいことだと思います。(置賜地方・20代女性)

勾玉作り

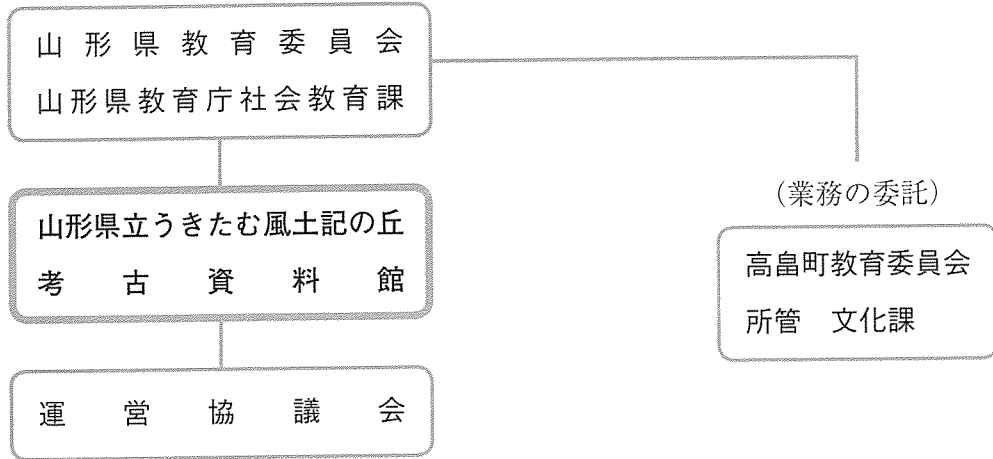
- ・初めて勾玉を作って勉強になりました。昔の人の気持ちを色々知ることができました。また、このような機会があれば参加したいです。(山形市・10代女性)
- ・また、勾玉を作らせてください。(高畠町・10代女性)

学校関係者から

- ・見学のマナーの勉強にもなりました。(米沢市・6年担任)
- ・楽しい見学と充実した体験学習で楽しく過ごすことが出来ました。(天童市・6年担任)
- ・2年生でどこまで学習の役に立てるかわかりませんが、とても楽しく石器や土器に触れたようです。(上山市・2年担任)

7. 管 理 及 び 運 営

(1) 組織・職員



運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏 名	備 考
(故) 安彦好重	山形県文化財保護協会会長
村野隆男	米沢市教育委員会文化課長
沓澤晋作	財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事
佐藤鎮雄	高島町立高島小学校長
前田みゆき	南陽市立漆山中学校校長
山崎正	高島町郷土資料館長
吉野智雄	上山市立図書館長 県文化財保護指導員

委員長 吉野智雄

副委員長 (故) 安彦好重

(2) 運営協議会

第1回

開催期日 10月30日 本館研修室

会議内容

- (1) 平成14年度考古資料館事業報告
- (2) 平成15年度考古資料館事業状況報告

第2回

開催期日 3月2日 本館研修室

会議内容

- (1) 平成15年度考古資料館事業報告
- (2) 平成16年度考古資料館事業計画

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職 名	氏 名	備 考
館 長	川崎利夫	非常勤
館長代理	金子貢司	
主 事	小林貴宏	
学芸員	竹田純子	嘱託
臨時職員	木村博子	臨時職員
臨時職員	小関利恵	臨時職員

(3) その他

平成15年度、新たに2件の要項を定めた。

- ①山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 博物館実習生募集要項
- ②押出遺跡出土に係る彩漆土器資料等出土品の貸出しに関する取扱要項

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館博物館実習生募集要項

1、募集人員 5名程度（先着順）

2、対象者 以下の①～⑤の条件を原則満たすものとする。

- ①考古学・歴史学系の専攻であって、専攻を博物館活動に活かす能力及び意志があること
- ②学内の推薦及び自身が山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下、当館）での実習を希望していること
- ③博物館に関する科目のうち実習を除く科目・単位を全て取得していること、取得の見込みがあること。
- ④当館が指定する実習全てに参加できること。
- ⑤大学側が実習の重要性を理解し、十分な事前事後指導を行なっていること。

3、実習期間

- ①日 数 年度毎に5日間以上10日間以内の連続する日数を指定する
- ②期 間 当該年7月から9月までのいずれかの指定した期間

4、申込み

①申込み 実習を希望するものは以下の通り申込みを行なう。

- ・申し込み期間 当該年2月上旬
- ・申し込み方法 大学にて取りまとめた後、大学毎当館に提出、又は郵送のこと。原則として実習希望者個人の申込みは認めない。
- ・結果の通知 当館が実習生を決定した日から1週間以内に各大学実習担当者に結果を通知する。
- ・申込みにあたって必要な書類（博物館実習受け入れ依頼書、履歴書、指導教官による推薦書）、大学宛返信用封書（切手貼付のこと）
- ・その他必要な手続きは、実習生決定後に行なう。

②申し込みにあたっての制限

- ・当館の行なう実習に参加申込みできるのは1大学2名以内とすること
- ・山形県出身者に限ること

5、選 考 選考は以下の項目により先着順により行なう。

- ①上記2、対象者に定める対象者であること
- ②申込にあたって必要な書類に関すること
- ③館長が特別に認めたものであること

6、実習希望者の選考

実習希望者が同日到着により定員を超過した場合は、レポート提出により選考することがあります。

7、その他

- ①自己負担 実習に際し必要な費用を実習開始後徴収させていただくことがあります。また、実習中の交通費については自己負担になります。
- ②責 任 万一事故が生じた場合、実習に際しての責任は全て本人及び大学にあることとさせていただきます。

押出遺跡出土に係る彩漆土器資料（国所有・国指定重要文化財）等 出土品の貸出しに関する取扱要項

（趣 旨）

第1条 この要綱は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「当資料館」という。）が所蔵する「押出遺跡」出土に係る彩漆土器（国指定重要文化財）をはじめとする出土品（以下「出土品」という。）を将来にわたり 末長く保存活用するため、その貸出しの取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（出土品の貸出し）

第2条 当資料館所蔵の出土品の貸出しは、学術又は教育事業の目的のため以外は許可しない。

2 出土品を複製するための貸出しは、原則として許可しない。

3 貸出しを受けようとする者は、貸出しを希望する日の90日前までに、当資料館に貸出しの申請をしなければならない。申請の手続きは、別途指示するところによる。

4 当資料館外への出土品の貸出しの回数は、原則として同一の物につき同一年度中に2回以内とする。

5 貸出期間は、1回につき原則として60日以内とする。ただし、特に材質等の劣化のおそれのあるものについては、1回につき30日以内とする。

6 貸出しを受ける者（以下「借用者」という。）が出土品を保管又は展示する施設は、国指定重要文化財の保管若しくは展示の実績がある施設又はそれらに相当する施設であると当資料館が認めたものに限る。

7 借用者側の出土品を運搬及び保管する担当者は、原則として当該保管施設の業務に専従している学芸員でなければならない。

8 借用者が管理すべき温度・湿度等については、当資料館の指示に従うこと。

9 貸出しに係る出土品の運搬は、借用者において美術品搬送専用車で行うものとし、借用者側の担当者が全行程に立ち会わなければならない。

10 貸出し先での出土品の実測及び写真撮影、原則として許可しない。

11 借用者は、出土品を目的外に使用してはならない。また、第三者に貸出してはならない。

（その他）

第3条 借用者は、貸出しを受けた出土品を毀損しないよう十分な注意をもって取り扱い、当資料館の指示に従うこと。

2 当資料館の規則及び職員の指示に従わない場合は、いつでも貸出しの許可を取り消すことができる。許可を取り消されたときは、貸出した出土品を速やかに返却し、それに要する費用は借用者が負担しなければならない。

3 借用者が、当資料館の所蔵する資料を利用し出版物を刊行した場合は、当該出版物を2部以上当資料館に贈呈すること。

（疑義の決定）

第4条 この要綱に定めない事項及びこの要綱に疑義が生じた場合は、その都度当資料館と借用者が協議のうえ決定するものとする。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

8. 受 贈 図 書

年 報

年報類	名 称	発 行 者
1	要覧 平成14年度	(財)北海道開拓の村
2	年報 第3号,第4号	北海道浦幌町立博物館
3	青森県立郷土館報 第30号	青森県立郷土館
4	史跡三内丸山遺跡年報 6	青森県教育委員会
5	平泉文化研究年報 第3号	岩手県教育委員会
6	一関市博物館年報 第4号	一関市博物館
7	年報 平成14年度	岩手県立博物館
8	多賀城市埋蔵文化財調査センター年報平成14年度	多賀城市埋蔵文化財調査センター
9	年報 平成14年度	東北歴史博物館
10	仙台市博物館年報 第30号	仙台市博物館
11	地底の森ミュージアム年報 第7号	仙台市富沢遺跡保存館
12	年報 21	秋田県埋蔵文化財センター
13	秋田県立博物館年報 平成15年度	秋田県立博物館
14	年報 平成14年度	山形県埋蔵文化財センター
15	山形県立博物館館報 平成14年	山形県立博物館
16	米沢市上杉博物館年報 vol.14	米沢市上杉博物館
17	齋藤茂吉記念館年報 18	齋藤茂吉記念館
18	土浦市立博物館年報 第15号	土浦市立博物館
19	玉里村立史料館報 v ol.8	茨城県玉里村立史料館
20	なす風土記の丘資料館年報 第10号	栃木県教育委員会
21	しもつけ風土記の丘資料館年報 第17号	栃木県教育委員会
22	埋蔵文化財センター年報 第13号	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
23	房総風土記の丘年報 24	千葉県立房総風土記の丘
24	埋蔵文化財調査センター年報15	千葉市教育振興財団埋蔵文化財調査センター
25	千葉市文化財調査協会年報14	千葉市文化財調査協会
26	松戸市立博物館年報 第10号	松戸市立博物館
27	国立歴史民俗博物館研究年報 10	国立歴史民俗博物館
28	国立歴史民俗博物館要覧 平成15年度版	国立歴史民俗博物館
29	東京都埋蔵文化財センター年報 23	東京都埋蔵文化財センター
30	江戸東京博物館要覧 2003	東京都江戸東京博物館
31	年報 平成13年度	横浜市歴史博物館
32	年報 No5	長野県立歴史館
33	長岡市立科学博物館報 83	長岡市立科学博物館
34	年報 12	富山県立山博物館
35	館報 平成14年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
36	岐阜県博物館報 第26号	岐阜県博物館
37	リトルワールド年報 第25号	野外民俗博物館リトルワールド
38	名古屋市見晴台考古資料館年報 20	名古屋市見晴台考古資料館
39	年報 平成14年度	滋賀県立安土城考古博物館
40	園部文化博物館報 第3号	園部文化博物館
41	大阪府立近つ飛鳥博物館館報 7.8	大阪府立近つ飛鳥博物館
42	年報 第22号	広島県立みよし風土記の丘歴史民俗資料館
43	年報 平成14年度	愛媛県歴史文化博物館

44	高知県立歴史民俗資料館 年報 No.12	高知県立歴史民俗資料館
45	九州歴史資料館年報 平成14年度	九州歴史資料館
46	年報 No.32	佐賀県立博物館・美術館
47	大分県立歴史博物館年報 2002	大分県立歴史博物館
49	宮崎県総合博物館年報 第32号	宮崎県総合博物館
50	要覧 平成15年度	鹿児島県立埋蔵文化財センター
51	東海大学社会教育センター年報 30	東海大学社会教育センター
52	同志社大学歴史資料館報 第6号	同志社大学歴史資料館
53	明治大学博物館年報 2001年度, 2002年度	明治大学博物館事務室

図 録

1	祈りの考古学	北海道浦幌町立博物館
2	東日本の神送り行事	青森県立郷土館
3	海と船と漁労の記録	みちのく北方漁船博物館
4	ムダマハギ 津軽海峡沿岸のムダマハギ型漁船をつくる	みちのく北方漁船博物館
5	むかしばなしの世界	一関市博物館
6	一関藩の武士たち	一関市博物館
7	綾織新田遺跡展	遠野市立博物館
8	送りの考古学	仙台市富沢遺跡保存館
9	仙台藩の金と鉄	東北歴史博物館
10	鮭	東北歴史博物館
11	追われる生きものからのメッセージ	山形県立博物館
12	最上川舟運を支えた人・物・心	山形県立博物館
13	正岡子規 近代俳句の出発点	山寺芭蕉記念館
14	雛人形と武者人形	山寺芭蕉記念館
15	右捻り・左捻り 縄文の土器文様と紐の捻り	長井市古代の丘資料館
16	上杉家の至宝2	米沢市上杉博物館
17	国宝上杉家文書図説	米沢市上杉博物館
18	SUZUKI MINORU	米沢市上杉博物館
19	どきどきの杜 博物館へ行こう!	米沢市上杉博物館
20	戦う上杉氏	米沢市上杉博物館
21	洛中洛外図 くらし	米沢市上杉博物館
22	郡山の古墳時代	郡山市教育委員会
23	郡山をほる 発掘と現代社会	郡山市教育委員会
24	まほろんでんじの本 Fふくしま・Iいばらき・Tとちぎの昔むかし	福島県文化財センター白河館
25	地方王権の誕生	茨城県玉里村立史料館
26	律令国家の誕生と下野國	栃木県しもつけ風土記の丘資料館
27	岩宿時代	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
28	岩宿遺跡発掘50年の足跡	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
29	三内丸山遺跡 巨大集落のなぞ	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
30	岩宿時代の動物たち	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
31	岡上景能とあかがね街道	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
32	最古の磨製石器 岩宿時代I期の石斧の謎	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
33	岡登用水 渡良瀬川の水をめぐる人々の葛藤	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
34	高島町の縄文時代	群馬県笠懸野岩宿文化資料館
35	ドキュメント災害史1703-2003	国立歴史民俗博物館
36	はにわ 形と心	国立歴史民俗博物館
37	歴史を探るサイエンス	国立歴史民俗博物館
38	武蔵の国府と国分寺	府中市郷土の森博物館

39	多摩の3万年を訪ねて	東京都埋蔵文化財センター
40	江戸時代の獅子ヶ谷村	横浜市歴史博物館
41	屋根裏の博物館 実業家渋沢敬三が育てた民の学問	横浜市歴史博物館
42	技と美の誕生 名宝でつづる縄文文化	山梨県立考古博物館
43	SOSふるさとの文化財をすくえ	長野県立歴史館
44	もみじ夕焼け里の秋 唱歌・童謡のふるさと信州	長野県立歴史館
45	捕る愛でる拝む 人と動物展	新潟県立歴史博物館
46	絵図に見る加賀藩と黒部奥山	富山県立山博物館
47	発掘された江戸時代のなごや	名古屋市見晴台考古資料館
49	台所の考古学 食をめぐる知恵の歴史	名古屋市博物館
50	常設展示案内	滋賀県立安土城考古博物館
51	日継知らず可き王無し 継体大王の出現	滋賀県立安土城考古博物館
52	小さな遺物見つけた!!	滋賀県立安土城考古博物館
53	信長と宗教勢力 保護・弾圧そして支配へ	滋賀県立安土城考古博物館
54	草津川発掘絵巻 -新草津川関連遺跡発掘調査成果展-	滋賀県立安土城考古博物館
55	園部・古墳周遊 ~平山遺跡群とその時代~	園部文化博物館
56	おもちゃ箱 -明治・大正・昭和・平成-	園部文化博物館
57	生身天満宮宝物展	園部文化博物館
58	黄泉のアクセサリ	大阪府立近つ飛鳥博物館
59	紫金山古墳 大阪府茨木市所在	大阪府立近つ飛鳥博物館
60	西域への道 シルクロードと大谷探検隊	大阪府立近つ飛鳥博物館
61	壁画古墳の流れ 高松塚とキトラ	大阪府立近つ飛鳥博物館
62	玉つくり	下関市立考古博物館
63	愛媛・絵馬堂へようこそ!	愛媛県歴史文化博物館
64	肥後の至宝展 I	熊本県立装飾古墳館
65	球磨楽展 肥後の至宝展 II ~球磨の考古と歴史に遊ぶ~	熊本県立装飾古墳館
66	二千年の鼓動 弥生土器の世界	大分県立歴史博物館
67	埴輪を造る 実験考古学の挑戦	早稲田大学會津八一記念博物館
68	縄文の精華 亀ヶ岡文化展	早稲田大学會津八一記念博物館
69	商品陳列館の半世紀 1951~2001	明治大学商品博物館
70	出土品展示目録 埴輪Ⅲ	宮内庁書陵部
71	出土品展示目録 埴輪Ⅳ	宮内庁書陵部

紀 要

1	紀要 第3号	北海道浦幌町立博物館
2	青森県山車祭礼調査報告書 青森県立郷土館調査報告47	青森県立郷土館
3	浪岡町文化財紀要Ⅲ 平成14年度	青森県浪岡町教育委員会
4	一関市博物館研究報告 第6号	一関市博物館
5	旧今野家住宅復原修理報告書	北上市教育委員会
6	岩手県立博物館研究報告書 第20号、21号	岩手県立博物館
7	古代「えみし」社会の成立とその系統的な位置付け	岩手県立博物館
8	仙台市富沢遺跡保存館研究報告 6	仙台市富沢遺跡保存館
9	市民文化財研究員活動報告書 7	仙台市富沢遺跡保存館
10	仙台市博物館調査研究報告 第23号 平成14年度	仙台市博物館
11	研究紀要 第17号	秋田県埋蔵文化財センター
12	秋田県立博物館研究報告 第28号	秋田県立博物館
13	山寺芭蕉記念館紀要 第6号 第7号 第8号	山寺芭蕉記念館
14	山形県立博物館研究報告 第22号	山形県立博物館
15	土浦市立博物館紀要 第13号	土浦市立博物館

16	研究紀要 第11号	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化センター
17	研究紀要 20	群馬県埋蔵文化財調査事業団
18	群馬県立歴史博物館紀要 第24号	群馬県立歴史博物館
19	調査研究報告 第16号	埼玉県立さきたま資料館
20	市立市川考古博物館館報 第29号 研究紀要	市立市川考古博物館
21	貝塚博物館紀要 第30号	千葉市立加曽利貝塚博物館
22	先生のための「歴博」見学の手引	国立歴史民俗博物館
23	研究連絡誌 第65号	千葉県文化財センター
24	東京国立博物館紀要 第37号	東京国立博物館
25	MUSEUM No. 579 ~ 587	東京国立博物館
26	研究論集 X IX	東京都埋蔵文化財センター
27	文化財保存修理技術者の仕事 調査と映像記録	東京都江戸東京博物館
28	紀要 第6号	横浜市歴史博物館
29	新潟県立歴史博物館研究紀要 第4号	新潟県立歴史博物館
30	研究紀要 10	富山県立山博物館
31	岐阜県博物館調査研究報告 第24号	岐阜県博物館
32	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第5号	名古屋市見晴台考古資料館
33	紀要 第11号	滋賀県立安土城考古博物館
34	研究紀要 第7号	下関市立考古博物館
35	研究紀要 第12号	高知県立歴史民俗資料館
36	研究紀要 第8号	愛媛県歴史文化博物館
37	調査研究書 第27集	佐賀県立博物館・美術館
38	研究紀要 4	大分県立歴史博物館
39	宮崎県総合博物館研究紀要 第24輯	宮崎県総合博物館
40	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 第4号	早稲田大学會津八一記念博物館
41	博物館学紀要 第27輯	國學院大學博物館学研究室
42	人類誌集報2002 東京都立大学考古学報告8	東京都立大学人類誌調査グループ
43	明治大学博物館研究報告 第8号	明治大学博物館事務室
44	研究紀要 2	東北芸術工科大学東北文化研究センター
45	最上川文化研究 1	東北芸術工科大学東北文化研究センター
46	海・人・自然 東海大学博物館研究報告 5	東海大学社会教育センター
47	大手前大学史学研究所紀要	大手前大学史学研究所

報告書

1	N30遺跡 札幌市文化財調査報告書58	札幌市教育委員会
2	三内丸山遺跡21他2 青森県埋蔵文化財調査報告書361 ~ 363	青森県教育委員会
3	雲谷山吹(4) ~ (7) 遺跡 他5 青森市埋蔵文化財調査報告書65 ~ 70	青森市教育委員会
4	八重菊(1) III・鶴喰(6)・鶴喰(9) 遺跡 森田村緊急発掘調査報告書9	青森県森田村教育委員会
5	狐森遺跡 他19 秋田県文化財調査報告書345 ~ 364	秋田県教育委員会
6	秋田県遺跡地図 男鹿・南秋田地区版	秋田県教育委員会
7	秋田城跡	秋田市教育委員会
8	岩手県内遺跡発掘調査報告書 他7 岩手県文化財調査報告書105, 106, 108, 112 ~ 114, 116, 117	岩手県教育委員会
9	中沢浜貝塚1997 他3 陸前高田市文化財調査報告書20 ~ 22, 24	陸前高田市教育委員会
10	新田東遺跡 他4 宮城県埋蔵文化財調査報告書191 ~ 195	宮城県教育委員会
11	堤根遺跡 中沢遺跡 他3 古川市31 ~ 34	古川市教育委員会
12	市川橋遺跡 多賀城市文化財調査報告書70,72	多賀城市教育委員会

13	宮城県岩出山町・座散乱木遺跡	座散乱木遺跡発掘調査団
14	寒河江市内遺跡(10)他1 寒河江市埋蔵文化財調査報告書24,25	寒河江市教育委員会
15	志戸田縄遺跡 第2・3次他26 山形県埋蔵文化財センター調査報告書92～117	山形県埋蔵文化財センター
16	小山崎遺跡	山形県立博物館
17	大塚天神古墳 3次他1 山辺町埋蔵文化財調査報告書10,12	山形県山辺町教育委員会
18	安中坊遺跡Ⅲ 西川町埋蔵文化財発掘調査報告書6	山形県西川町教育委員会
19	左沢楯山城遺跡 大江町埋蔵文化財調査報告書6	山形県大江町教育委員会
20	市内遺跡 (11)他1 長井市埋蔵文化財調査報告書22,23	長井市教育委員会
21	市内遺跡分布(6)他3 鶴岡市埋蔵文化財調査報告書20～22	鶴岡市教育委員会
22	西沼田遺跡 I次 天童市埋蔵文化財発掘調査報告書29	天童市教育委員会
23	八森遺跡 先史編・先史図録編 八幡町埋蔵文化財調査報告書13	山形県八幡町教育委員会
24	松原館跡 桑折町埋蔵文化財調査報告書16	福島県桑折町教育委員会
25	荒井猫田遺跡 他15	郡山市教育委員会
26	上礼堂遺跡	福島県泉崎村
27	谷地小屋原遺跡	福島県新地町教育委員会
28	輪王寺跡Ⅱ 梁川町文化財調査報告書 第17集	福島県梁川町教育委員会
29	栃木県埋蔵文化財保護行政年報25 他9 栃木県埋蔵文化財調査報告書268～277	栃木県教育委員会
30	泉水山・下ノ原遺跡Ⅱ,Ⅷ	朝霞市泉水山・下ノ原遺跡調査会
31	二重山遺跡 他1 千葉県文化財センター報告297,306	千葉県文化財センター
32	海老遺跡 他6	千葉市文化財調査協会
33	多摩ニュータウン遺跡 他25 東京都埋蔵文化財センター調査報告書50, 110, 121～136, 138～144	東京都埋蔵文化財センター
34	日南田遺跡 第2次 他5	八王子市教育委員会
35	姥久保遺跡Ⅳ	東京都南部住宅建設事務所
36	高遠城跡大手門石垣	長野県高遠町教育委員会
37	馬場上遺跡 他1 十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書22,23	十日町市教育委員会
38	二軒茶屋遺跡 中条町埋蔵文化財調査報告書27	新潟県中条町教育委員会
39	長者屋敷・中貝遺跡	新潟県鹿瀬町教育委員会
40	見晴台遺跡第39・40・41次	名古屋市見晴台考古資料館
41	黒田B遺跡 他12	滋賀県教育委員会
42	中畑遺跡Ⅱ他2 草津市文化財調査報告49,51,52	草津市教育委員会
43	京都市埋蔵文化財調査概要 他3	京都市埋蔵文化財研究所
44	谷遺跡 第5次 他7	桜井市文化財協会
45	陣内遺跡 他5 高田町文化財調査報告書1,3～7	福岡県高田町教育委員会
46	鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 14,16	鹿児島大学埋蔵文化財調査室
47	物見処遺跡2002 國學院大學文学部考古学実習報告 第37集	國學院大學文学部考古学研究室
48	高安窯跡群 東北芸術工科大学考古学研究報告第2冊	東北芸術工科大学考古学研究室

目録

1	歴史民俗資料館史料集 第8集	山形県大石田町教育委員会
2	霞ヶ浦町郷土資料館収蔵資料目録 農具編・漁具編	茨城県霞ヶ浦町郷土資料館
3	大久保利通関係資料目録 国立歴史民俗博物館資料図録〔2〕	国立歴史民俗博物館
4	資料目録 13	東京埋蔵文化財センター
5	獅子ヶ谷村横溝家史料集	横浜市歴史博物館
6	横浜市歴史博物館資料目録 第10集	横浜市歴史博物館
7	久保家文書・上田家文書目録 愛媛県歴史文化博物館資料目録10	愛媛県歴史文化博物館
8	寺石正路関係資料目録Ⅰ 平成14年度収蔵資料目録第3集	高知県立歴史民俗資料館
9	明治大学博物館図書目録 第5号、第6号	明治大学博物館事務室

調査資料

1	貝保遺跡 他19	秋田県埋蔵文化財センター
2	発掘された野路岡田	草津市教育委員会

学術雑誌

1	環太平洋文化 第18号	日本環太平洋学会
2	郷土てんどう 第31号、第32号	天童郷土研究会
3	山形考古 第7巻第3号	山形考古学会
4	中世出羽の諸様相 東北中世考古学会第9回研究大会資料集	東北中世考古学会
5	中世城郭研究 第11号	中世城郭研究会
6	天童東村山地域史研究 設立5周年記念誌	天童東村山地域史研究協議会
7	東北日本の旧石器文化を語る会 第16回、17回 予稿集	東北日本の旧石器文化を語る会
8	東北文字資料研究会資料 第1回	東北文字資料研究会
9	米沢史学 第18号、19号	米沢史学会
10	縄文ジャーナル vol.1、2	国際縄文学会

単行本

1	詩まんだら	黙出版・千歳 栄
2	考古学に歴史を読む	同志社大学歴史資料館

論文(抜刷)

1	埋葬された縄文犬と散乱した犬骨	奥松島縄文村歴史資料館・菅原弘樹
2	奥松島縄文村10年目の到達点と今後の展望	奥松島縄文村歴史資料館・菅原弘樹

その他

1	青い森の農耕社会と文化 平安・鎌倉・室町時代編	青森県文化財保護協会・青森県埋蔵文化財調査センター
2	北上地方の水田開発史(前編)	北上市立博物館
3	縄文の風を感じて 岩手県遠野市新田Ⅱ遺跡	(有)フワライフ・米山みどり
4	薄葉篤蔵コレクション考古資料調査報告書 横手市史叢書2	横手市史編さん考古部会
5	学芸員の室もの	山形県立博物館
6	南陽市史編集資料 第31号、32号	南陽市教育委員会
7	史跡 足利学校跡入徳門他四棟保存修理工事報告書	足利市教育委員会
8	笠懸村誌 上・下巻・別巻三・別巻四	笠懸野岩宿文化資料館
9	岩宿に想う	笠懸野岩宿文化資料館
10	槍先形尖頭器文化期の集落と武井遺跡	笠懸野岩宿文化資料館
11	石斧の系譜 打製斧形石器の出現から終焉を追う	笠懸野岩宿文化資料館
12	刺突具の系譜 予稿集	笠懸野岩宿文化資料館
13	丘陵人の叙事詩 嵐山町の原始・古代 第4巻	埼玉県嵐山町
14	上越市史 別編1 上杉文書	上越市・上越市史編さん委員会
15	見晴台教室 '02	名古屋市見晴台考古資料館
16	黒漆の文化	西中 謙
17	吉備路風土記の丘ガイド	岡山県立吉備路郷土館 岡山県文化財保護協会
18	21世紀のミュージアム活動に向けて	広島県歴史民俗資料館等連絡協議会
19	高田町の文化財	福岡県高田町教育委員会
20	博物館の望ましい姿	(財)日本博物館協会
21	歴史の資料	(株)正進社

9. 日 誌 抄

- 4 / 1 辞令交付式
- 4 / 26 歴史公園春まつり 赤ちゃん手形づくり開始 5 / 6 まで280組参加
- 5 / 5 こどもの日無料入館日 (357名入館)
- 5 / 18 うきたむ考古の会総会 (長井市古代の丘資料館)
- 5 / 29 第1回企画展示委員会
- 6 / 1 春の遺跡めぐり 天童市 (東村山郡役所資料館～天童古城～若松寺～格知学舎～出羽桜美術館など 25名参加)
- 6 / 28～29 「みる・きく・ふれる遺跡の旅」 新潟県 (中条町江上館～県立歴史博物館～馬高・三十稲場遺跡～藤橋遺跡～鯨波温泉～柏崎市博物館～出雲崎良寛堂～良寛記念館など 28名参加)
- 7 / 5 体験講座「布を作る」 8 / 23 まで4回
- 7 / 19 体験講座「勾玉づくり」 (25名参加)
うきたむ考古の会 福島県立博物館「発掘された日本列島展」見学 (21名参加)
- 7 / 30 博物館学芸員実習 (4名) 8 / 5 まで
- 8 / 2～3 体験講座「土器づくり」 10 / 25 野焼き教室 (延べ60名参加)
- 8 / 10 第1回考古学セミナー 三上喜孝氏
- 8 / 24 第2回考古学セミナー 吉田 歆氏
- 8 / 31 古志田東遺跡見学会 (25名参加) 第3回考古学セミナー 北野博司氏
- 9 / 6 うきたむ縄文まつり (303名参加)
- 9 / 11 第2回企画展示委員会
- 9 / 14 第4回考古学セミナー 村木志伸氏
- 9 / 21 第5回考古学セミナー 川崎利夫、閉講式 (51名受講)
- 10 / 1 第11回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展～」開展 11 / 30 まで
- 10 / 3 国民文化祭無料入館 10 / 14 まで (672名入館)
- 10 / 19 秋の遺跡めぐり (大江・朝日町方面 25名参加)
- 10 / 30 本館運営協議会
- 11 / 3 文化の日無料入館日 (122名入館)
- 11 / 6 小矢部市議会議員視察・懇談
- 11 / 16 企画展講演会・トーク 講師：手塚 孝氏、三上喜孝氏 (100名受講)
- 11 / 28 長谷部優氏追悼会
- 11 / 30 東北文字資料研究会 (70名参加)
- 12 / 13 第10回窯跡研究会 (40名参加)
- 12 / 16～23 館内燻蒸のため休館、同時に地下タンク配管工事实施
- 12 / 17～18 館内職員研修 (えさし藤原の郷～北上市立博物館～県立博物館～盛岡城～県立美術館)
- 2 / 15 古代食まつり (155名参加)
- 2 / 22 第5回置賜の発掘調査検討会 (70名参加)
- 3 / 2 本館運営協議会

10. 利 用 案 内

◆交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分
JR高島駅より自転車で40分
※高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります。

◆開館時間 4月1日～10月31日／AM9：00～PM4：30
11月1日～3月31日／AM9：30～PM4：30

◆休館日 月曜日、国民の祝日
(こどもの日と文化の日は、無料で開館します。)
年末年始(12月28日～1月4日まで)
大型連休中は、臨時開館の場合があります。
燻製作業等のため臨時休館の場合があります。

◆入館料金 一般200円(150円)、学生 {大学生以上}100円(70円)、小中高 無料
()は、20名以上の団体料金

◆入館料の減免 次の基準により減免(無料入館)します。

1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、各号の一つに該当する者とする。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
- (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

※上記2の入館料の減免を受けようとする方は、入館減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。

- (3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人。

◆収蔵図書の利用

資料館に収蔵されている図書(県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他)の閲覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用ください。

利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書資料のみのご利用には入館料はかかりません。詳しくは事務室までお問い合わせ下さい。

考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください(ただし、諸般の事情によりご要望に添えない場合もございます)。

- ◆**展示説明** 当館職員が展示をご説明します。また、実物の資料、復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆**歴史公園を歩く** 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴住居、雑穀の畑などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆**遺跡案内** 当館周辺には、日向洞窟(国史跡)や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆**体験学習** 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます(メニュー参照)。その他体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メニュー	内 容	所要時間	人 数	材料費
勾玉づくり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2時間	40名	100円
火おこし	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無料
弓矢づくり	竹を利用して、弓矢を作ります。	2時間	10名	100円
土器・土偶・土笛づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・野焼き日)	20名	500円
編み布 (あんぎん)づくり	古代以来の編み具を使って、10cm 四方程度の編み布(コースター)を作ります。	2時間	10名	100円

県立考古資料館利用打合せ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして下記の打合せ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利用団体名			
学 年	年	引率者・代表者	
人 数	大人 小人	名 名	
日時・所要時間	月	日	: ~ :
実施内容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他 ()		
来館のねらい			
説 明	館内・歴史公園内・近隣史跡 (日向洞窟・金原古墳ほか)		
職員の説明の際に強調を希望する点	無・有 (旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡)		
使いたい資料	無・有 (実物・パネル等・復元縄文衣服・その他 { })		
研修室利用	希望しない・希望する (学習のため・雨天時昼食のため)		
利用にあたって希望すること (体験学習等)	体験: 勾玉づくり・火おこし等		
交通手段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・その他 ()		
当日に利用する他の施設・史跡等			

*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございましたら、こちらも送付ください。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高島町大字安久津2117
TEL 0238-52-2585 FAX 0238-52-4665

2003 / 年報

平成16年（2004年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238 (52)2585

FAX 0238 (52)4665

アドレス : 122@town.takahata.yamagata.jp

印刷 寄清堂印刷

